9	１３番　　堤　　　理　志　　議員 ①　昨今のデジタル活用、ＡＩ活用の課題について 　昨今、世界的にコンピュータやクラウド上に保管されている様々な情報が漏洩する事例が相次いでいます。こうした背景から、住民からも「わが町の情報管理は安全なのか」との懸念の声が寄せられています。そこで以下を質問します。 （１）本町が管理している個人情報や行政データの管理体制において、セキュリティ上の問題は発生していないか伺います。 （２）デジタル情報の取り扱いを外部に委託している業務がある場合、委託先における安全管理は適切に行われているか伺います。 （３）今後のさらなるＩＣＴ技術の進展を見据え、本町および委託先における情報漏えい対策を含め、より強固な安全管理体制のあり方を検討する必要はないか、町の見解を伺います。 （４）義務教育課程である小・中学生にとって、文法、読解力、思考力など、自らの基礎基本を磨くことは極めて重要な教育であると認識しています。現在、生成AIが普及し、その利用も低年齢化していると考えます。基礎基本を身につける大切な時期に、例えば宿題や課題をＡＩに投げかけて回答を得てしまうと、自ら読解力や思考力を培う機会が奪われ、成長に支障がでるのではないかと懸念します。また、将来ＡＩをツールとして活用する際にも、主語・述語など正確な文法に基づくプロンプト（指示）を記述する力をも削いでしまう可能性を危惧します。児童生徒の確かな学力を培うために、一定の時期や場面においてＡＩの使用を制限するなど、発達段階に応じたルールづくりが必要と考えますが、教育委員会および学校現場としてどのような考えをお持ちか伺います。 ②　子どもの居場所、学習スペースの確保について 　令和５年３月の定例議会一般質問で、子どもたちの学習スペース、居場所について議論し、新図書館やＪＲ長与駅のコミュニティーホールの活用などの議論へと発展しました。令和９年に新図書館がオープンする予定であり、多くの児童生徒が学びの場として活用すると想定しています。しかし、当該地は北陽台高校と近接しているため、学習スペースの利用は同校の生徒が占める割合が高くなることが予想されます。 それに伴い、北陽台高校以外の小・中・高校生から、学習スペース・居場所を別途確保してほしいというニーズが今後高まると推察します。そこで、以下を質問します。 （１）夏休みや冬休みなどの長期休暇期間中、学習スペースについてのニーズ調査を行う考えはありますか。 （２）仮に今後、子どもたちの学習スペース確保という課題解決に向けて議会側と協議を行い、議会としての合意が得られた場合、空いている議会フロアの部屋を学習スペースとして開放・活用していくことについて、町当局および教育委員会として連携・協力していく考えはあるか見解を伺います。（議事堂、委員会室は議会が管理する場であり、現段階で議会内での機関決定や合意形成がなされているわけではありません。しかしながら、子どもたちの健やかな育ちを地域全体で支えるという、行政と議会の共通目的の観点から伺います）。 ③　人工法面の安全確認について 　現在、全国的に日照り続きやゲリラ豪雨など、気候の変動が激しい状況が続いています。また、日本周辺の海水温の上昇に伴い、台風の大型化も懸念されています。 こうした中、町内に点在する人工法面は、大雨や台風の際、土砂の崩落から住民の命と財産を守るための大変重要な役割を担っていると考えます。とりわけ、造成から年月が経過している長与ニュータウンの法面については、激甚化する気象災害への不安

	から、地域住民の関心も高まっています。そこで以下を伺います。 （1）長与ニュータウンをはじめとする町内の人工法面について、現在の安全確認（点検）と、把握はどのようになっているか伺います。 （2）把握した点検結果や法面の現状について、防災の観点から地元自治会へ情報共有はなされているでしょうか。 （3）予算に関する説明書の説明欄に点検予定場所を明示することができないでしょうか。